

2007年2月7日

各 位

オリックス株式会社

物流と金融を融合させた『ファイナンス型3PL事業』へ進出 ～ 船井総研ロジ株式会社と提携～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：藤木 保彦、以下 オリックス）は、このたび、船井総研ロジ株式会社（本社：東京都中央区、社長：菅 重宏、以下 船井ロジ）と提携し、3PL（Third Party Logistics）事業を展開することになりましたのでお知らせいたします。

3PL事業の活動率は、米国では70%以上に上りますが、日本ではいまだに10%以下の状況です。しかしながら、昨今では日本国内の物流事業において、企業の「選択と集中」により効率化が求められ、アウトソーシングされる流れも強くなってきました。

オリックスグループは、オリックス・リアルエステート（4月17日よりオリックス不動産株式会社に社名変更）が開発・投資する物流倉庫施設（保有資産残約1,200億円（2006年12月末現在の残高ベース・開発中含む）をはじめ、ロジスティクス資産を横断的に保有しており、物流企業向け車両管理システムや代金決済など、ファイナンスに対するノウハウもあります。また、船井ロジはノンアセット型の3PL事業者であり、物流診断や設計・請負サービスを業としています。金融と物流を融合した日本初の「ファイナンス型3PL」を展開していきます。

具体的には、物流面での調達・販売物流のコストダウンを支援し、金流面では回収・支払代行や倉庫のオフバランス化によるキャッシュフローの良化に貢献、お客さまにとっての物流最適化を目指しコンサルティングをしていきます。

今後、オリックスは中堅・中小企業を中心とした約50万社のお客さまを対象に、状況に応じた解決策と実行プランなどを提示し、ロジスティクスの効率化を推進していきたいと考えています。

3PL (Third Party Logistics) とは、荷主でも従来の運送業者でもない第3者企業(サードパーティ)に自社の物流戦略の設計、構築から運用まですべてを委託すること

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

オリックス株式会社 社長室広報グループ

担当：藤井・宮木

TEL：03-5419-5102